

戦争關係重要事項日誌第一號
昭和十八年一月一日—五日

一月一日 金曜日

四一九七 鳴神島に敵機來襲 大本營發表に依れば鳴神島方面帝國海軍航空部隊は昨年十二月三十日より本日に亘り來襲せる敵機と交戦敵戦闘機五機を撃墜し、地上砲火に依り敵B 25一機を撃墜した (三八二二)

四一九八 帝國陸軍航空部隊贛州爆撃 帝國陸軍航空部隊は戦闘機及爆撃機の大編隊を以て贛州(江西省南部)を攻撃同地飛行場並に軍事施設、同地對岸の軍需品倉庫を爆撃多大の損害を與へ全機無事歸還した (四〇七三)

四一九九 英艦逐艦喪失 英海軍省は驅逐艦ブリーンを喪失せる旨發表した (四〇七七)

四二〇〇 ウエイヴエル、ゴート兩大將元帥に昇進 英陸軍省は英インド軍司令官大將ウエイヴエル(二四一七)並にモルタ島總督大將ゴートの兩名が元帥に昇進した旨發表した(二八〇九)

四二〇一 北ボルネオ内地間電報 北ボルネオ内地間の公衆電報の取扱が開始せられた。料金は一通に付和文は本文五字迄二圓四十錢、以上五字増す毎に八十錢、歐文は三語迄三圓、以上一語増す毎に一圓である (三九二四)

一月二日 土曜日

四二〇二 ムンダ其の他に來襲の敵機撃退 ニュイプリテン島及ソロモン群島方面所在部隊は舊臘三十一日以來本日迄にムンダMunda、ラバウル Rabaul、スルミ Sulmei 方面に來襲せる敵機延機數十餘機を撃退した。特に本日ムンダに來襲せる敵機は三十餘機で我地上砲火に依り其の六機(内不確實二機)を撃墜した (四一二五)

四二〇三 我軍永安空襲 帝國陸軍航空部隊は大編隊を以て永安(福州西方二百軒)を空襲し市内の燃料及彈藥庫竝に軍需工場群を燦碎或は炎上せしめ全機無事歸還した (四一九八)

四二〇四 駐ソ濠洲公使着任 濠外相エヴァツトは駐ソ濠公使ウイリアム・スレーターがクイビシエフに到着執務を開始した旨發表

した

(四一二九)

(654)

四二〇五日、西、瑞典駐劄獨大使更迭 日本、スペイン及スエー
 デン駐劄ドイツ大使オイゲン・オット、フォン・シュテラー、
 プリンツ・ツィ・グイートの三氏は更迭、駐支獨大使ハイナリツ
 ヒ・スターマー(二一五六)、フォン・モルトケ、元駐米代理大
 使ハンス・トムゼン(一五二二)の三氏が夫々日本、スペイン、
 スエーデン駐劄後任を命ぜられた。尙駐支大使は後任の決定を見
 る迄在日ドイツ大使館勤務エリツク。コルト公使が代理大使とし
 て南京に赴任する筈である (三二三)

四二〇六 印度政廳の新聞統制 印度政廳は印度各新聞社に今後新
 聞諮問委員會の指導を受けぬ限り印度の反英獨立運動に關する記
 事は一切新聞紙に掲載することを禁ずる旨通告した (三九二六)

一月三日 日曜日

四二〇七 獨海軍昨年十二月中の戦果 獨海軍は昨年十二月中に
 船舶七十八隻四四七八百噸を撃沈した外敵巡洋艦一隻、驅逐艦

隻、コルヴエツト一隻、潜水艦二隻、護衛艦一隻を撃沈空軍も亦
 艦逐艦一隻、護衛艦一隻を撃沈した旨獨軍司令部から發表された

(四一八四)

四二〇八 大戰開始以來の英海軍損害 英海軍省は一九三九年大戰
 開始以來一九四二年末迄の四年間に於ける英海軍の損害を發表し
 た。右四年間の艦艇種類累計は左表上欄の通り、主なるものの年別
 損失は第二欄以下の通りである

(四一九九)

艦種	四年間累計	一九三九年	一九四〇年	一九四一年	一九四二年
戰闘艦	五	一	一	四	二
航空母艦	五	一	一	一	二
巡洋艦	二五	三	九	一三	二
驅逐艦	九八	三五	二二	三一	一三
潜水艦	五〇	一一	一一	一一	一四
警備艦	三五	三	三	三	六
コルヴエツト					一〇
巡邏船		三	二	二	二

敷設艦	一八	六	七
河川用砲艦	六		
假裝巡洋艦	一七		
特設航空母艦	二		
補助艦艇	二四五	一	〇
			一三六
			五

(註) 右の外

海防艦を一九四一年に一隻、
快速艇を一九四一年に一隻、一九四二年に六隻喪失

四二〇九 一九四二年に於ける米戦費 米財務省は開戦以來一箇年
間に於ける米國の戦費支出額は五百六十億弗を多少超過する旨發
表した。尙右金額は米國が第一次歐洲大戰の一九一七年中に於け
る戦費支出額の約四倍に相當する (四〇二八)

四二一〇 米外交關係文書發表 米國務省は「戦争と平和」と題す
る全文六萬語の文書を以て一九三一年から一九四一年に至る十年
間に於ける米政府の外交の経過を發表した

四二一

米フィルム配給量削減
米戦時生産局はハリウツドの一流映畫撮影所に對するフィルム配給量を昨年の實績の二割五分減、
其の他の撮影所に對しては一割二分減とする旨撮影所に通告した

(657)

(四一六四)

一月四日 月四日

(658)

- 四二一 皇軍桂林、韶關、樂昌空襲 我陸軍航空部隊は大編隊を以て桂林飛行場（四〇七三）附屬施設を爆砕し、他の一隊は韶關（廣東北方約百七十軒）及樂昌（韶關北方約五十軒）を襲撃し全機無事歸還した（四二〇三）
- 四二二 英驅逐艦沈没公表 驅逐艦ファイアードレーク號一三七五噸が沈没した旨英海軍省は公表した（四一九九）
- 四二四 英北阿常駐相アルジエール着 英北阿常駐相ハロルド・マクミランはアルジエールの反極軸軍司令部に到着した（四一七九）
- 四二一 五 フィッツシュ米下院外交委員辭職 米下院外交委員會委員ハミルトン・フィッツシュは委員を辭職した
- 四二一 六 米ガソリン割當削減 米政府は華府並に東部十七州に於てガソリン割當量を一部削減した（四一〇五）
- 四二一 七 智内相ブエノスアイレス着 チリ一内相モラレスはブエノスアイレスに到着即日アルゼンチン大統領カスチヨを訪問時餘に亘り會談した（四〇八六）

四二一八 コルト公使上海着 在日ドイツ大使館勤務コルト公使は

上海に到着した (四二〇五)

四二一九 坪上駐泰國大使東京着 坪上駐泰國大使は三日バンコツ

クより空路福岡着本日午後陸路東京驛に到着した (二九六八)

四二二〇 東京手形交換所初交換 東京手形交換所初交換は枚數二

二六九四〇枚で過去六箇年に於ける最低を示現し金額は七四八七

四九千圓一枚當三二九九圓と豫想外の尠少に止まつた之を昨年

に比較するに枚數に於て六三九〇二枚金額に於て一〇九四五一千

圓の夫々減少を示したが一枚當り金額は三百四十二圓の増加とな

つてある (四一九五)

一月五日 火曜日

四二二一 我軍韶關を空襲 帝國陸軍航空部隊は大舉韶關を急襲し

附近の敵軍事施設を爆碎或は炎上せしめ全機無事歸還した (四二一二)

四二二二 チロール將軍、ダカール着 佛領北アフリカ政權主席チロ

「將軍はアルジエールから空路ダカール（四〇六〇）に到着した

（四一五二）

四二二三 英北阿常駐相チロイ將軍會談 英北アフリカ常駐相ハロ

ルド・マクミランはチロイ將軍を訪問會談した（四二一四）

四二二四 英西亞常駐相米國務長官會談 英西亞常駐相ケーシーは

米國務長官ハルを訪問會談した（四〇五八）

四二二五 米航空母艦サン・クワシント號 米海軍省は航空母艦サ

ン・クワシント號をテキサス州ヒューストン市民の獻金に依り目

下建造中である旨發表した

四二二六 米昨年中の造船成績 米海軍委員會委員長ランドは一九

四二年に於ける造船成績を次の通り發表した（三八五五）

一九四二年中に建造された商船は七百四十六隻八百九万八百噸で

其の内譯は自由刑船舶五百四十二隻、油槽船六十二隻、C型標準

船六十二隻、英國向貨物船五十五隻、沿岸就航用貨物船五隻、礮

石輸送船五隻、其の他特別刑船舶十五隻である、但し陸海軍に依

り建造された艦艇並に約八百隻の小型船舶は含まれてゐない

四二二七 米遊覽娛樂用自動車運轉禁止 米物價調整局は東部十七

州及コロンビア區に於ける遊覽娛樂其の他一切の不急不需用務の自動車運轉を七日正午以後禁止する旨布告した、右により影響を受ける自動車所有者は約八百四十万に上るものと推定せられる

(661)

(四二一六)

四二二八 米國民の一九四三年に於ける所得 米商務長官ジエツシ

・ I・ジョーンズは一九四三年に於ける米國民所得は一千三百五十億弗に上るものと推定せられる旨發表した

四二二九 カナダに於ける徴兵年限擴張 カナダ政府は徴兵法に依る登録年限を擴張し獨身者十九歳乃至四十歳既婚者十九歳乃至二十五歳の男子は一月末迄に登録を了すべき旨布告した

(四〇九六)

四二三〇 智内相サンチャゴ歸着 チリ内相モラレスはサンチャ

ゴに歸着した (四二一七)

昭和十八年

戰爭關係重要事項日誌

第 二 號

自 月 日 至 月 日

財團法人世界經濟調查會
米國經濟研究部



例言

一、本誌は昭和十六年中當會米國經濟委員會委員諸氏其の他の關係者に毎週配付して來た「日米關係重要事項週報」を改題したもので、日米關係に携はる實務家及び研究家の備忘の爲極く重要な出來事の起つた日を檢出する便宜を供するのを目的とする。

一、本誌は毎號前週月曜日より日曜日迄の出來事を收録し毎週水曜日に配付する豫定である。各事件は可及的其の起つた日の項に記載する事にす。故に或る事件に付別段日の記載なきときは其の日に起つたものと了解せられたい。或事件の日が不明な場合又は著しく日時が經過した後判明した場合には、當局の公表の日其の他適當の日の下に收録し其の旨特記する。尙茲に「日」といふのは其の事件の起つた地に於ける日を指すので、従つて事實上は同時に起つた事が西半球の出來事は一日前に記載される事なるから其の點注意されたい。但し互に緊密に關係した一聯の事項は時の關係を理解し易からしむる爲に或る地の時を基準として其の日の欄に一括記載する事もある。其の場合には現地の日を明記する。(例ば原則に従へば布哇海戦は十二月七日の欄に在るべきであるが、帝國の對米英宣戦と一括して十二月八日の項に記載したるが如し。當該週の日誌編輯後に判明した事項は補遺として各號の末尾に掲げる事もある。

一、本誌の材料は東京の各新聞紙を主とし其の他公刊物の記事中確實と認めらるるものを用ひ、機密事項は一切之を除外する。

一、同一日の出來事の記載の順序は原則として(一)大東亞戰爭(二)合

衆國及び合衆國關係事項(三)拉典亞米利加諸國及び其の關係事項(四)歐洲戰爭(五)支那及び其の他の外國(七)日本國內諸問題の順に配列し記事の取扱方も此の順を追ふて精より粗に進める。即ち前者程比較的些末事項迄稍詳しく説述し、後者に進むにつれ特に重要な問題文を簡單に記述するに止める。但し相互密接に關聯ある事項は必ずしも右順序に拘泥せず便宜一括記載する事もあるであらう。

一、各項の引照番號は「重要事項週報」に引續き其の番號を追ふ事にした。各項末括弧内の數字は當該事件に直接關係ある最近發生せる同様問題の番號で、此番號を辿つて行けば當該事件の發展が明かなる様工夫した。

一、本誌の主眼は日米關係の主要なる出來事の日の檢出に便するに在り、成るべく簡潔なる事を力める。事件の詳細完全なる記述は之を期する所でない。然し日米關係の進展に關係ある事項は成るべく網羅し、且つ本誌丈でも其の出來事の概略はわかるやう力める結果、數週間の後には所要事項の日の迅速なる檢出に必ずしも便利でなくなるので、其の目的の爲に別に本誌の記事を更に精選し、記述を極度に簡略にし三箇月毎に「戰爭關係重要事項一覽表」を作成する豫定である。

一、日誌は以上の様な趣旨で今後益改善して有用なものにしたき考であるから之に關する忌憚なき御批評御注意を受くるを得ば編者最も幸とする所である。

昭和十七年一月

戦争關係重要事項日誌第二號

昭和十八年一月六日—十二日

(662)

一月六日 水曜日

四二三一 印度軍アキヤブ方面に來襲 ラチヤング(アキヤブ西北

方約三十軒)附近に約二百の敵が來襲、又ドンベイク(ラチヤン

ク西南方約四軒)に敵約五百が來襲したが何れも我軍に反撃せら

れ潰走した (四一九六)

四二三二 塚田中將戦死 在支兵團長塚田攻中將、藤原武大佐は舊

臘十八日中支戦線で作戦要務中飛行機事故により戦死せる旨陸軍

省から發表せられた。尙塚田中將は大將に藤原大佐は少將に本日

附進級せしめられた (三七三八)

四二三三 英の獨本土空襲に於ける英側損害 英空軍省は十二月中

に行はれた英空軍の獨本土爆撃で飛行機百二十機を喪失した旨發

表した

四二三四 佛領西阿軍 佛領西アフリカ當局は一九四〇年に動員

解除された佛領西アフリカの全佛豫備兵に近く召集令を發する旨

發表した

發表した

(四〇七四)

(663)

四二三五 米國議會開會

米國第七十八議は正午開會せられた、新

議會の構成(參照三七六八)は次の通りである(四〇七八)

(上院) 民主黨五七名、共和黨三八名、進歩黨一名

(下院) 民主黨二二二名、共和黨二〇八名、労働黨一名、進歩黨

三名、缺員一名

四二三六 米ガソリン割當量削減

軍需の必要に基き近くガソリン

の一般への配給割當を二割五分削減せられる旨物價調整局は發表

した(四二一六)

四二三七 ス페인産業動員令

ス페인政府は陸相に必要に應じ

産業機關を動員する權限を賦與する旨の統領令を公布した

(三九四四)

四二三八 インド人經營新聞休刊

全インド百五十餘のインド人經

營新聞は朝刊から一齊に休刊した(四二〇六)

四二三九 周佛海氏は午前南京に歸着した

(四一八一)

四二四〇 大東亞戰爭公債發行 帝國政府は大東亞戰爭公債八億圓

を大藏省預金部及日本銀行引受に依り發行した(四一〇〇)

一月七日 木曜日

四二四一 獨チユニシア方面軍指揮官更迭 獨軍司令部はチユニシ

ア方面軍指揮官ウオルター・ネーリング將軍に代りハンス・ハイ
ンリツヒ・フォン・アーニム將軍が同方面樞軸軍の最高指揮官に

任ぜられ既に前線に着任した旨發表した (四〇五〇)

四二四二 マダガスカル島高等辨務官 マダガスカル島駐在高等辨

務官ル・ジャンテイヨノムは海路同島タマテーヴに到着した
(四〇六七)

四二四三 大統領年頭教書 口大統領は上下兩院合同會議に臨み教

書を朗讀し太平洋に於ける戰鬪は米國に取り本質的には防禦的な
もので、一九四三年こそは歐洲及太平洋に於て聯合軍側に取り前
進の時である旨述べ一九四二年中に於ける武器生産高は、

軍用飛行機四萬八千機 軍用車輛五萬六千臺

機關銃六十七萬挺 對戰車砲二萬一千門

小銃彈百二億五千萬發 砲彈一億八千百萬發

で兵力も二百萬から七百萬に増大した旨を述べた
一九四三年は日常生活上各方面に於て總力戰の苦痛を味はなけれ

(664)

ばならない旨を附加した

(二〇四三)

(665)

四二四四 米加經濟協定調印

米國カナダ兩國政府間に農産物並に

家畜の交換に關する協定が米農務長官ウイツカードと駐米カナダ

公使マツカーシーの間に調印された

(三九五七)

四二四五 米ホンデユラス、パナマ、メキシコ交通協定調印

米國

政府とホンデユラス、パナマ、メキシコ三箇國政府との間に北中
米を貫通する米大陸公路上の交通運營に關する協定が調印せられ

(三九四五)

四二四六 米戰時計畫委員會

米戰時生産局は全米千九百の軍需工

場に戰時計畫委員會を設置した旨發表した。右委員會は各工場に
於て作業能率の研究に従事し増産促進方法に就て獻策する使命を

有し、委員會の設置された工場の労働者數は合計三百七十五萬で

(四一五三)

四二四七 キューバ駐屯米國兵の犯罪

キューバ司法省は同國裁判

所は今後キューバ駐屯米國兵に關する犯罪を審理せざる旨發表し
た

(三八二七)

四二四八

濠軍需工場労働者數

濠首相カーチンは現在濠洲の工場

(666)

労働者は總計七十萬に達するが中五十萬は軍需工場労働者で一般
民需生産は開戦以來既に六割方縮減を見てゐる旨言明した

一月八日 金曜日

四二四九 ド・ゴール、チロイ兩將軍會見
ド・ゴール政權本部は

佛領北アフリカ政權主席チロイが佛領内某地に於てド・ゴールとの會見を承諾した旨發表した
(四二二二)

四二五〇 米重要物資配給機構擴張
米戰時生産局は十一日統制物資配給機構を擴大して重要物資の配給を從來の七機關(三七六四)

に更に住宅局、ゴム管理局、國防運輸局、戰時石油調整局、食糧調整局、臨時生産局施設部の六機關を追加し重要物資の配給を行ふ旨同局から發表せられた

四二五一 スタンドレー駐ソ米大使歸任
駐ソ米大使スタンドレーは空路タイピシエフに到着した
(三六七七)

四二五二 米大統領特使ニューデリーに着
口大統領印度派遣特使ニューデリースは空路ニューデリーに到着した
(一三八七)

四二五三 チリ外相隣國大使會見
チリ外相フェルナンデスはブラジル、ペルー、アルゼンチン、ボリビア各國の大使を招致し個別會見を行つた
(三九四二)

個別會見を行つた

(867)

四二五四 華北政務委員會委員長南京着 華北政務委員會委員長王

揖唐氏以下五名は午後空路南京に到着した (三五九一)

四二五五 廣東省に於ける新舊法幣特別交換 廣東省に於ては一月

十二日より二十五日迄二週間に亘り廣東、汕頭、市塙地區を除く
鄉村地區に亘り最後の新舊法幣特別交換を行ひ二十六日以降は
舊法幣の所持使用をも禁止することに決定、其の旨舊法幣整理委
員會廣東分會其他支那側諸機關から布告せられた

(三一〇二)

一月九日 土曜日

四二五六 中華民國對米英宣戰及租界還付並に治外法權撤廢等に關す

る日華協定 中華民國國民政府は午前十時米英兩國に對し宣戰した、次
いで日華兩國は對米英戰爭を完遂する爲軍事上、政治上及經濟上
完全なる協力を爲す旨の日華共同宣言が發表せられた

(二二〇六)

日華兩國の戰爭完遂に就ての協力に關する日華共同宣言並に租
界還付及治外法權撤廢等に關する日本國中華民國間協定が午前十

一時三十分國民政府大禮堂に於て重光大使と汪行政院長との間に
調印せられた

帝國政府は日華一體對米英戰爭完遂並に大東亞新秩序建設に關
する其の所信を中外に聲明した

四二五七 獨海軍のアゾレス群島附近に於ける戦果 獨軍司令部發

表に依れば獨潜水艦隊はアゾレス群島附近に於て十六隻の米油槽

船より成る有力なる護送船團を捕提攻撃し其の十三隻十二萬四千

噸を撃沈し殘る三隻にも魚雷を命中せしめた (四二〇七)

四二五八 スターク大將華府着 歐洲水域米艦隊司令官スタークは

華府に到着した (四一四八)

四二五九 シリア内閣總辭職 フスニ・バラエを首班とするシリア内

閣は總辭職した (三九七三)

一月十日 日曜日

四二六〇 米ウオーカー准將戦死 西南太平洋反樞軸聯合軍司令部

は米准將ケネズ・ウオーカーが朝ラパウル附近に於て米空軍爆撃

隊を指揮して戦鬪中行方不明となり戦死したものと思はれる旨發

表した

(四二〇二)

(670)

四二六一 英潜水艦沈没 英海軍省は潜水艦アトモストが沈没せる

ものご推定せられる旨發表した (四二一三)

四二六二 ヒ獨總統羅首相會談 獨總統大本營發表に依ればヒツト

ラー總統は大本營に於てルーマニア首相兼ルーマニア軍總司令官

イオン・アントネスコ元帥と會談した (三四一七)

四二六三 駐蘇カナダ公使 カナダ首相マツケンジキングはウイグ

レス商相代理をソ聯(三六三一) 駐劄公使に任命した (二九九三)

四二六四 フスト元亞大統領逝去 元アルゼンチン大統領アグスチ

ン・フスト將軍は逝去した、享年六十七 (三九〇〇)

四二六五 ラヴァル佛首相パリ到着 ラヴァル佛首相は午後パリに到着した(四二一七)

四二六六 駐重慶ソ聯大使歸任 駐重慶政權ソ聯大使パニユーシキン

は空路重慶に到着した (三七〇五)

四二六七 英チーズの割當量削減 英食糧省はチーズの割當量を従來

の一週間一人二百四十瓦を百八十瓦に削減一月十一日から實施する

旨發表した

四二六八 英情報省次官辭職 英情報省政務次官ロナルド・トリ
は辭職した、同氏は過去二箇年に亘り同地位にあつた
四二六九 トルコ軍事使節團ロンドン着 セリレツク將軍を團長とす
るトルコ軍事使節團一行七名は空路ロンドンに到着した

一月十一日 月曜日

二七〇 米ソロモン水域に於ける損害發表 米海軍省はソロモン

水域に於ける海戦に於て航空母艦ホーネット一九九〇〇噸を昨年

十月二十六日撃沈された旨及同艦の外

重巡洋艦ノーザンプトン（九〇五〇噸）

輕巡洋艦ジュノー六千噸及アトランタ六千噸

驅逐艦モンセン一六三〇噸、同カシン一四六五噸、同ベナム一

五〇〇噸、同プレストン一四八〇噸、同ウオーク一五七〇噸、

同バートン一七〇〇噸、同ラフエイ一七〇〇噸、

以上巡洋艦三隻、驅逐艦七隻を同水域に於て喪失した旨發表した

（三七二八）

四二七一 對米英宣戦に關する諸外交部長放送 諸國民政府外交部

長は夜南京放送局に於て放送し中國今回の對米英宣戦により中國

と米英兩國との間に締結せられた條約、協定、契約並に一切の國

際條約にして中國及米英兩國に關係あるものは即時之を廢棄する

旨聲明しヘীগ陸戦法規並に戰時國際法規は之を尊重遵守する方

針なる旨言明した （四二五六）

四二七二

支那に於ける治外法權撤廢に關する米、英重慶政權間條約
治外法權撤廢及不平等條約修正に關する米重慶政權、英重慶政權
間の新條約が米重慶政權間は午前十時十五分華府に於て國務長官
ハルと駐米重慶大使魏道明の間に、英重慶政權間は午後四時重慶
に於て外交部長宋子文と駐重慶英大使シーモアとの間に夫々調印
された

(三六一六)

四二七三

ボアツソン總督スーダン着 佛領北アフリ
カ政權首府ボアツソン將軍は佛領西アフリカ總督ボアツソン同伴ダカ

イルより空路佛領スーダンのバマコに到着した(西二四九)

四二七四

大統領豫算教書 口大統領は總額一千九十億弗の來年度

豫算教書を議會に送つた概要は次の通りである(二〇五八)

一豫算總額一千九十億弗、内軍事費一千億弗

一軍事費内釋

武器彈藥費六百六十億弗

給料其他二百十億弗

軍需工場建設費二十億弗

其他軍用建設費五十億弗

(674)

武器貸與費其他六十億弗

一、豫算總額の四四%（四十七億九千六百萬弗）は公債支辨、五〇

%（五百四十五億弗）は稅收

一、歳入に於て増稅又は強制貯蓄に依り百六十億弗の増加を期待

一、開戦直後に於ける戰費は一箇月二十四億弗であつたが現在は一

箇月六十億弗を超過してゐる

一、新豫算に於て戰爭關係以外の支出を四〇%削減したい意向

一、公債現在高本會計年度末に於て一千四百五十億弗に、來會計年

度末には二千五十億弗に達する見込

一、本年度改訂豫算内譯は

武器彈藥費四百三十億弗

給料其他百五十億弗

軍事工場建設費六十億弗

其他軍用建設費八十億弗

武器貸與費其他五十億弗

計 七百七十億弗

四二七五 米リベリアに武器貸與 日大總領はリベリア共和國へ

○六四)に武器貸與法を適用してゐる旨發表した(四〇三七)

四二七六 米物價調整局長官 口大統領は前ミシガン州選出民主黨

上院議員ブレンテイス・ブラウンを物價調整局長官に任命するに

決定し右任命案に就て上院の同意を求めた (四〇八七)

四二七七 駐濠洲米公使 口大統領は民主黨全國委員會委員長エド

ワード・フリンを濠洲駐劄公使に指名し上院の同意を要求した

四二七八 イラン經濟使節團離伯 ブラジル訪問中のイラン經濟使

節團長アラヤー・サレは今般イラン國藏相に任せられリオデジ

ヤネイロ發ニューヨーク經由歸國の途に就いた(四〇五二)

四二七九 英勞働使節團ニューヨーク着 フランク・ウォルステン

クロフトを首班とする英國勞働會議遺米使節團一行はロンドンよ

り空路ニューヨークに到着した

四二八〇 駐ソ濠公使信任狀捧呈 駐ソ濠公使スレーターはソ聯最

高會議幹部會議長カリニン氏に信任狀を捧呈した

(四二〇四)

四二八一 駐西獨大使着任 駐スペイン獨大使フオン・モルトケ

はマドリードに着任した

(四二〇五)

四二八二 西領モロツコ高等辨務官 スペイン領モロツコ高等辨務官オルガツ將軍は朝テツアン出發空路マドリードに向つた

四二八三 スエーデン船二隻沈没 スエーデン海軍省は同國國籍の

ブラジル號七六〇噸、油槽船スヴィヤール一五一五〇噸が交戦國の安全航行に關する保障の下に南米に向け航行中ノールウエー沖に於て沈没した旨發表した (四一〇二)

四二八四 華北勞働者昨年中の入滿數 華北勞工の昨年中に於ける

入滿數は團體三三一、四七八人、個人七〇六九九九人、合計一〇三八、四七七七人に上り隨伴家族數は約五十三萬人に達する旨華北勞工協會から發表せられた

四二八五 鐵鋼統制會理事長 北支製鐵會社社長渡邊義介氏が鐵鋼統制會理事長小日山直登氏の後任に決定した

一月十二日 火曜日

四二八六 南太平洋方面帝國陸軍航空部隊戰果 南太平洋方面帝國陸軍航空部隊は昨年十二月末迄に敵飛行機三十四機を撃墜三機を地上撃破した、我方の損害自爆及未歸還機計十機なる旨大本營か

ら發表された

四二八七 獨海軍の大西洋水域に於ける戦果 獨軍當局は大西洋水

域に於ける獨潜水艦が敵商船十六隻八萬九千噸を撃沈した旨發表

した、尙襲に獨潜水艦の攻撃を受けた米油槽船團中沈没を免がれ

た油槽船二隻も其の後獨海軍に依り撃沈された旨獨軍司令部から

發表された (四二五九)

四二八八 反樞軸空軍ナポリ空襲 イタリ一軍司令部發表に依れば

反樞軸空軍ナポリに來襲死者二十三名負傷者六十五名を出した、

伊軍は敵重爆撃機四機を撃墜した (四〇四九)

四二八九 米飛行機改造基地新設 米戦時情報局は米國各地に多數

の飛行機改造基地が設置せられた旨發表した、石基地に於て各飛

行機製作工場に於て大量生産された劃一的な飛行機が世界各地に

於ける戦場の特殊性に應じ改修せられる (三八九一)

四二九〇 米海軍に徴兵法適用 米人的資源動員委員會徴兵局は海

軍の兵員徴募に徴兵法を適用する旨發表した (三九九四)

四二九一 米商船建造費として四十億弗の追加豫算を要求した(四二二六)

會の商船建造費として四十億弗の追加豫算を要求した(四二二六)

四二九二 米南米向輸出制限 米戦争經濟局はアルゼンチン、ボリ

グイア、コロンビア、エクアドル、ペルー、ヴェネズエラの七箇
 國向輸出許可證の發給を特別の場合を除き三月迄停止する旨發表
 した (三七七一)

四二九三 米「農村動員日」 口大統領の提唱にかかる第一回の農

村動員日が全米に亘り舉行され食糧増産、軍需用棉花、植物等農
 村生産物の重要性を強調する各種の催しが行はれ經濟安定局長官
 ジエームズ・バーンズは大統領の挨拶を代讀放送した (三〇〇〇)

四二九四 英パン配給割當制 英食糧相ウールトンは近くパンの配

給割當制を實施する旨發表した

四二九五 英前情報相ストツクホルム着 英前近東情報相ウォルタ

ー・モンクトンはストツクホルムに到着した (二五八五)

四二九六 スエーデンの中立確保態度 スエーデン皇帝グスタフ五

世は議會に於て、スエーデン國民は祖國の中立維持政策の眞意を
 他に疑はれるやうな言語動作を慎むべき旨訓示した

(四二八五)

四二九七

武漢周邊に於ける舊法幣流通禁止

國民政府財政部は來

(679)

る二月二十五日以降漢口周邊五十一城市に於て舊法幣の法的通貨性を剝奪し流通、所持、保存を禁止する旨及今尙舊法幣を死藏中の考に來る十六日より二月十四日迄最後の交換の機會を與へる旨布告した

(三六〇六)

四二九八

情報協議會

政府は情報の基本方針、輿論指導方針、對

外宣傳方針等の基本方針に關し關係方面の代表者が集合して意見の交換を行ふ爲情報協議會を開催することとなり其の第一回會合が正午より内閣書記官長官舎に於て開催され谷情報局總裁、佐藤、岡陸海軍務局長、有末參謀本部第二部長、三好警保局長、井口外務省勅任調査官、竹内大東亞省總務局長等が出席した、尙同協議會は今後毎週一回定期的に開催されることとなつた

前 號 補 遺

一月五日 火曜日

四二九九

敵機我病院船空襲

我病院船あらびや丸がラングーン港

内を徹速航行中コンソリデーテツド爆撃機三機が突如同船に反復

懸壁を加へたが同船の損傷は輕微で人員の被害もなかつた
(二〇八二、六二三)